

パブロ・ピカソ『ゲルニカ』の世界

8. 駆け寄る女



彼女は、画面左にいる子の屍を抱く女を慰めようとする何かだと考えられています。

共和国政府を支援した唯一の国、ソビエト連邦の隠喩とも考えられています。



「ゲルニカ」に描かれているものとは？その意味とは？

「ゲルニカ」は、スペインの内戦を題材にした作品です。1937年に反乱軍のフランコ将軍を支援するナチスによって行われたスペイン北部の小都市ゲルニカに対する無差別爆撃が題材になっています。この事件は、当時ファシズムの残酷さを象徴するものとして、国際的に激しい批判の対象とされていました。

反戦の意を込めて

爆撃の様子をリアルに描くのではなく、様々な角度から見た姿を画面にまとめて描くキュビズムや、現実を超越したシュルレアリスムなどの手法で描いています。これによって、ゲルニカ爆撃だけでなく、戦争の悲劇さを人々に訴えています。

制作： 5年11月7日

作者名
(ニックネーム)

太郎冠者

Famous Painters'Work 名画で塗り絵を楽しみましょう